

TRAFFIC SCOPE

「TRAFFIC SCOPE」は交通参加者の行動観察を通じて、ドライバーやライダー、自転車利用者、歩行者に守るべきルールがあることを再認識してもらうための連載記事です。

交通参加者の行動を観察する

歩道では歩行者優先を意識して安全な自転車利用を！

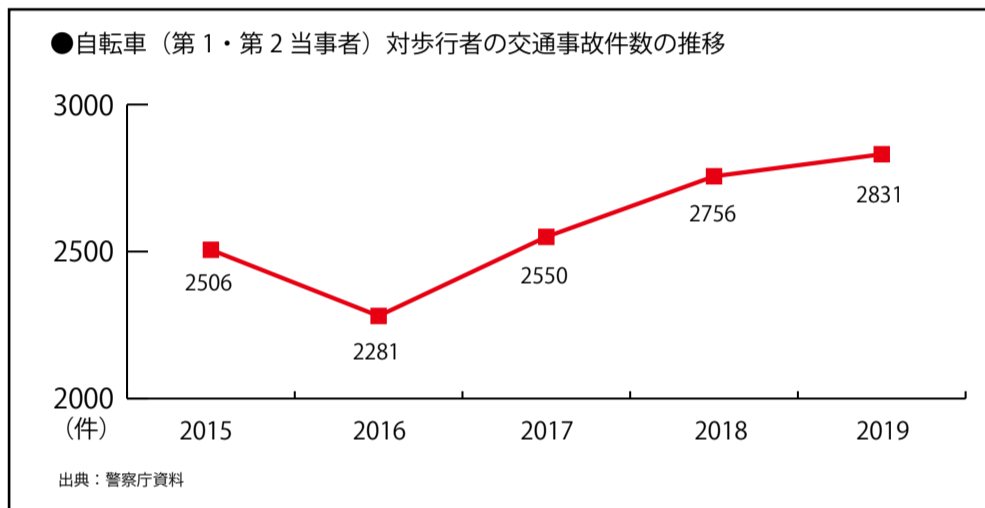
DATA 基礎情報

自転車は歩道走行時に車道寄りを通行しなければならない

2019年の自転車関連交通事故は8万473件で前年より6.0%減少しているが、対歩行者の事故に限ってみると2.7%増加している。

自転車と歩行者が交錯しやすいのは歩道である。道路交通法では、自転車が歩道を通行できるのは、①「普通自転車歩道通行可」の道路標識または道路標示がある場合、

②「普通自転車通行指定部分」の道路標示がある場合、③運転者が13歳未満または70歳以上、身体の障がい有する者である場合、④歩道を通行することが「やむを得ない」と認められる場合（例：道路工事や連続して車両が駐車しているなど）である。そして、自転車で歩道を通行する際は「歩道の車道寄りの部分または道路標識等により通行すべき部分が指定されている部分を徐行して通行すること」「歩行者の通行の妨げとなる場合は、一時停止して歩行者の通行を妨げないようにすること」が定められている。



WATCHING 観察

意識して車道寄りを通行する自転車は少ない

今回は、東京都内の鉄道の駅近くにある3カ所の歩道（観察場所A、B、Cいずれも「普通自転車歩道通行可」の道路標識あり）で、自転車は歩道の車道寄りを通行しているか観察した。

歩道の車道寄りを通行していたのは、Aで120台中67台（55.8%）、Bで173台中27台（15.6%）、Cで146台中98台（67.1%）だった。

AとBの歩道においては、自転車に車道寄りを通行しようという意識は感じられなかった。どちらも歩道を往來する歩行者が多く、必ずしも歩道の建物寄りを通行しているとは限らない。自転車は歩行者がいらないスペースを選んで通行している状況だっ

た。Aの歩道は見通しが良いため、自転車のスピードは高く感じられた。Bの歩道では朝の通勤・通学時間帯ということもあり、歩行者が広がって通行している場面が多く、Aに比べると自転車のスピードは低かった。どちらも、歩行者のわずかな隙間を蛇行して走る自転車が見られ、危険に思われた。Cは自転車と歩行者の通行部分が指定されているため、AとBに比べ、意識して車道寄りを選ぶ自転車が少なかった。各々の通行部分は植え込みで仕切られていることもあり、自転車の通行部分に歩行者が入る場面は観察中、見られなかった。Cの歩道のように、自転車の通行部分を明確に示すことは歩行者と自転車を分離する上で効果があると感じられた。しかし、歩行者が少なく直線でスピードを上げやすいためか、歩行者信号が点滅を始めた際に減速せずに交差点に進入する自転車が散見された。

ADVICE アドバイス

歩行者優先の場所を通行しているという意識を

自転車の通行部分が指定されていない歩道でも、自転車は車道寄りを通行することを意識してほしい。さらに、歩行者が多い歩道や横断歩道においては、一時停止をして歩行者の妨げにならないように努める必要がある。状況に応じて自転車を降りて押して歩く必要がある。観察中、歩道や横断歩道に歩行者が多いと思われる状況であって

も、止まったり、自転車を降りて押し歩きする人はほとんどいなかった。また、Cの歩道のように自転車と歩行者の通行部分が指定されていても、約3分の1の自転車は歩行者の通行部分を走っていた。

自転車は歩道を通行する際、歩行者優先の場所を通行しているという意識を常に持ち、歩行者に最大限配慮しなければならない。一方、歩行者もスマートフォンを注視しながら歩くことは控えるとともに、歩道の車道寄りをなるべく歩かないように意識することで、歩行者と自転車が上手く共存できるはずだ。

観察結果

観察場所 A

東京都江東区 東京メトロ「門前仲町駅」付近
観察日／9月3日（木）
観察時間／17:00～18:00
天候／晴れ



歩行者の隙間を縫うように蛇行して走る自転車



正面から歩行者が近づいてきても止まる自転車はいない



歩道だけでなく、横断歩道を渡る自転車のスピードも高く感じられた

	歩道の通行位置		合計
	車道寄り	建物寄り	
自転車（台）	67 (55.8%)	53 (44.2%)	120

観察場所 B

東京都世田谷区 東急電鉄「三軒茶屋駅」付近
観察日／9月4日（金）
観察時間／7:30～8:30
天候／晴れ



歩行者がいるため、自転車が車道寄りを通行できない場面が多かった



自転車と幼児が接触しそうな場面もあった



自転車を降りて押し歩きをする人は観察中1台だった

	歩道の通行位置		合計
	車道寄り	建物寄り	
自転車（台）	27 (15.6%)	146 (84.4%)	173

観察場所 C

東京都台東区 東京メトロ「稲荷町駅」付近
観察日／9月4日（金）
観察時間／9:30～10:30
天候／晴れ



標識で歩行者と自転車の通行部分を指定している



指定された場所を通行しない自転車もいた



スマートフォンを注視しながら運転している自転車

	歩道の通行位置		合計
	車道寄り	建物寄り	
自転車（台）	98 (67.1%)	48 (32.9%)	146